

O を原点とする座標平面に点 A(2, 1) と点 B(1, -2) をとる. 実数  $\theta$  ( $0 \leq \theta < 2\pi$ ) に対して点 P は  $\vec{OP} = (\cos \theta)\vec{OA} + (1 - \sin \theta)\vec{OB}$  を満たすものとする. 次の問いに答えよ.

- (1) 内積  $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$  を求めよ.
- (2)  $\theta$  が  $0 \leq \theta < 2\pi$  を満たす値をとって変化するとき, 点 P の軌跡を求めよ.
- (3) 内積  $\vec{PA} \cdot \vec{PB}$  の最大値と, そのときの  $\theta$  の値を求めよ.

(13 同志社大 理工 2 月 10 日 2)

- (1) 0
- (2) 点 B(1, -2) を中心とする半径  $\sqrt{5}$  の円
- (3)  $5 + 5\sqrt{2}$ ,  $\theta = \frac{5}{4}\pi$

解答は次のページにあります.

## 【チェック・チェック】

円のベクトル方程式の問題です.

係数が  $\cos \theta$ ,  $\sin \theta$  となるように式を変形しましょう.

成分計算で処理することもできますが, 少々計算が伴います.

【解答】

(1)  $\vec{OA} = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix}$ ,  $\vec{OB} = \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix}$  より

$$\vec{OA} \cdot \vec{OB} = 2 \times 1 + 1 \times (-2) = 0$$

……(答) ← 内積の成分計算

(2)  $\vec{OP} = (\cos \theta)\vec{OA} + (1 - \sin \theta)\vec{OB}$  を変形すると

$$\vec{OP} = \vec{OB} + (\cos \theta)\vec{OA} - (\sin \theta)\vec{OB}$$

$$\vec{BP} = (\cos \theta)\vec{OA} + (\sin \theta)(-\vec{OB})$$

← 係数を  $\cos \theta$ ,  $\sin \theta$  とした.

であり,  $\vec{BC} = \vec{OA}$  となる点 C をとると

$$\vec{BP} = (\cos \theta)\vec{BC} + (\sin \theta)\vec{BO}$$

である. このとき,

$$\vec{BC} \perp \vec{BO} \text{ かつ } |\vec{BC}| = |\vec{BO}| = \sqrt{5}$$

← 基本ベクトル  $\vec{BC}$ ,  $\vec{BO}$  についての性質

より

$$|\vec{BP}|^2 = 5 \cos^2 \theta + 5 \sin^2 \theta = 5$$

であり, P は点 B を中心とする半径  $\sqrt{5}$  の円上を動く.

さらに,  $\theta$  は

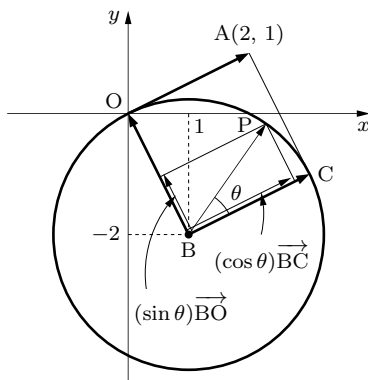
$$0 \leq \theta < 2\pi$$

の範囲で変化するから, 点 P の軌跡は

点 B(1, -2) を中心とする半径  $\sqrt{5}$  の円

……(答)

である.



- P の座標を  $(x, y)$  とすると

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} &= \cos \theta \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} + (1 - \sin \theta) \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix} \\ \begin{cases} 2 \cos \theta - \sin \theta = x - 1 \\ \cos \theta + 2 \sin \theta = y + 2 \end{cases} \\ \begin{cases} \cos \theta = \frac{2x + y}{5} \\ \sin \theta = \frac{-x + 2y + 5}{5} \end{cases} \quad \dots\dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

点  $(x, y)$  が点 P の軌跡上の点であるための条件は、 $\textcircled{1}$  を満たす  $\theta (0 \leq \theta < 2\pi)$  が存在することであるから

← この言い回しが大  
切.

$$\begin{aligned} \left(\frac{2x+y}{5}\right)^2 + \left(\frac{-x+2y+5}{5}\right)^2 &= 1 \\ (2x+y)^2 + (-x+2y)^2 + 10(-x+2y) + 25 &= 25 \\ 5x^2 + 5y^2 + 10(-x+2y) &= 0 \\ x^2 + y^2 - 2x + 4y &= 0 \\ (x-1)^2 + (y+2)^2 &= 5 \end{aligned}$$

よって、点 P の軌跡は、点 B(1, -2) を中心とする半径  $\sqrt{5}$  の円である。

- P の座標を  $(x, y)$  とすると

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} &= \cos \theta \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} + (1 - \sin \theta) \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} 1 + 2 \cos \theta - \sin \theta \\ -2 + 2 \sin \theta + \cos \theta \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} 1 + \sqrt{5} \cos(\theta + \alpha) \\ -2 + \sqrt{5} \sin(\theta + \alpha) \end{pmatrix} \end{aligned}$$

← 三角関数の合成.  $x$   
成分は  $\cos$  でまとめ,  
 $y$  成分は  $\sin$  でまと  
める.

ただし、 $\cos \alpha = \frac{2}{\sqrt{5}}$ 、 $\sin \alpha = \frac{1}{\sqrt{5}}$  であり、 $\alpha \leq \theta + \alpha < \alpha + 2\pi$  である。

よって、点 P の軌跡は、点 B(1, -2) を中心とする半径  $\sqrt{5}$  の円である。

- (3) 始点を B にとり直すと

$$\begin{aligned} \vec{PA} \cdot \vec{PB} &= (\vec{BA} - \vec{BP}) \cdot (-\vec{BP}) \\ &= |\vec{BP}|^2 - \vec{BA} \cdot \vec{BP} \quad \dots\dots \textcircled{2} \\ &= 5 - \sqrt{10} \times \sqrt{5} \cos \angle ABP \\ &\leq 5 - 5\sqrt{2} \times (-1) \\ &= 5 + 5\sqrt{2} \end{aligned}$$

← 内積の定義

等号は  $\angle ABP = \pi$  すなわち

$$\theta = \frac{\pi}{4} + \pi = \frac{5}{4}\pi$$

のとき成立する。

よって、 $\vec{PA} \cdot \vec{PB}$  は  $\theta = \frac{5}{4}\pi$  のとき、最大値  $5 + 5\sqrt{2}$  をとる。  
.....(答)

- ②以降を次のように処理することもできる.

$|\vec{BC}| = |\vec{BO}| = \sqrt{5}$ ,  $\vec{BC} \cdot \vec{BO} = 0$  であることに注意すると

$$\begin{aligned} & \vec{PA} \cdot \vec{PB} \\ &= |\vec{BP}|^2 - \vec{BA} \cdot \vec{BP} \\ &= 5 - (\vec{BC} + \vec{BO}) \cdot \{(\cos \theta)\vec{BC} + (\sin \theta)\vec{BO}\} \\ &= 5 - 5 \sin \theta - 5 \cos \theta \\ &= 5 - 5\sqrt{2} \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) \end{aligned}$$

← 基本ベクトル  $\vec{BC}$ ,  $\vec{BO}$  で表す.

よって,  $\vec{PA} \cdot \vec{PB}$  は  $\theta + \frac{\pi}{4} = \frac{3}{2}\pi$ , すなわち  $\theta = \frac{5}{4}\pi$  のとき, 最大値  $5 + 5\sqrt{2}$  をとる.

- 成分計算してもよい.

$$\begin{aligned} & \vec{PA} \cdot \vec{PB} \\ &= \begin{pmatrix} 1 + \sin \theta - 2 \cos \theta \\ 3 - 2 \sin \theta - \cos \theta \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} \sin \theta - 2 \cos \theta \\ -2 \sin \theta - \cos \theta \end{pmatrix} \\ &= (1 + \sin \theta - 2 \cos \theta)(\sin \theta - 2 \cos \theta) \\ & \quad + (3 - 2 \sin \theta - \cos \theta)(-2 \sin \theta - \cos \theta) \\ &= (\sin \theta - 2 \cos \theta) + (\sin \theta - 2 \cos \theta)^2 \\ & \quad + 3(-2 \sin \theta - \cos \theta) + (-2 \sin \theta - \cos \theta)^2 \\ &= 5 - 5 \sin \theta - 5 \cos \theta \\ &= 5 - 5\sqrt{2} \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) \end{aligned}$$

← ここから先はひたすら計算する.

よって,  $\vec{PA} \cdot \vec{PB}$  は  $\theta + \frac{\pi}{4} = \frac{3}{2}\pi$ , すなわち  $\theta = \frac{5}{4}\pi$  のとき, 最大値  $5 + 5\sqrt{2}$  をとる.

← 三角関数の合成